

石堂公新目印

表下控門智路多

黃金齋

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

八 揚羽大坂安治川口波除築地圖文

夫浪華者是日域第一大洋天下無雙教系榮之地也日漕數千賈舶群然滿港口然累年有流沙埋水底則行舟將膠于時天保二年春官下令濬之且使庶人合其力助其勞則皆感戴仁政不知于之舞足之踏欣喜何可量哉於是群船競奔安治川役夫則運送沙石以築長堤旬日之間忽然為高阜季人稱之曰天保山矣今也海口既深數十之巨船得往還之利而款乃晝夜喧嘩可謂愈當津之大榮而益天下之至幸也因欲使知其恩澤于海內聊圖其所見通示眾人耳若其全寫則俟他日皆成就之時追刻之以致其詳云



浦邊頼昭謹識

かじしやあどく舟をうらめをせりきり子とあし  
あれる免くく身曉のかけ物あ

淀川のぬきき恵といちり流きいさあをほそ  
山をえりあふ

源久保山歌

源久保

むねきき	畝火の山よ	むらけ	身梨山の
あふ山の	けいあふさ	香具山の	せういふを
に乃海	波たぬせい	なりはる	やまの名を
久この	三保きとる	湯あがる	其さるを
あはや振	津のうめじ	ワきあは	浪速のうめ

浦ちつき	あはれあ川の	川よとん	堀さるま
たまうしえ	きせとる	と雲乃	柳川た
のこしん	かろ山み	をりれえ	浪たもめ
作のいり	あはれ松原	あつをえ	たあふ
うらま	浪のうめ	あつさる	あつさる
あつを	秋もみち	うさせ	うら植
あつを	あつさる	たつあは	藤の目
あつを	あつさる	せのう	忘草あ
山はあ			

浦邊頼昭謹識